

上
意
東
令和三年九月一日
研修センターハだより

176号

発行責任者
上意東地域づくり協議会会長
森廣光彦



広瀬や月山を眼下に見ながら、案内人さんより歴史や、山城のお話など聞きました

地元ガイドさんのコメント

4年生の児童はとてもしっかりしているなと思いました。体力も十分で最後の25段の階段を駆け上がっていく姿を見て感心しました。また、初対面の児童同士でしたが班長を中心に助け合って活動を行つていい思い出になつたと思います。そして、昼食のカレーが絶品でした。新米ガイドも何とか務りました。

最後の胸突坂もなんなく攻略



かつて戦国時代に戦いが繰り広げられたことや、3校の校歌に「京羅木山」の歌詞があることなどを学びました。途中では、地元のガイド5人が出雲金刀比羅宮から京羅木山(標高473m)まで1時間かけて登頂しました。(東出雲公民館主催)

全員が初めての登頂で眼下に見える郷土などの大パノラマを目に焼き付けました。下山後は、おちらと村で食事や水遊びで更に親睦を深めました。

おちらと村で夏休みの思い出づくり



バケツ水族館 従来はほたる祭りの6月でしたが今回は夏休みに開催

生き物を間近で見たり触ったりできるのが、バケツ水族館のおもしろいところで、親子連れの皆さんが楽しいひと時を過ごしていました。

今回注目を浴びたのが、「川遊び」です。暑い日差しの中、気持ちよさそうに遊ぶ子どもたちが多く、生き物を捕まえていた子どもたちもいました。このバケツ水族館の後、川遊びに来る方たちが多くなつたように思います。

ひさしぶりで、おちらと村が賑やかになりました。



川遊びの様子
初めての川遊びの子もいました
大好評



川の魚やかめ水生昆虫など集まりました

バケツ水族館&めだかの学校
生き物との触れ合いは貴重な体験

